

マザーグースとミステリーとロマンス

木田 裕美子

Mother Goose, Mysteries, and Romance

KIDA, Yumiko

Abstract

Mother Goose has been sung to babies and infants in the English-speaking cultures. It has also been helping people to develop their personalities. As they grow, memories in their childhood and Mother Goose are being hidden under consciousness. Hearing a rhyme, a line or a word, they remember the rhyme itself along with the situation in which they were, which mystery writers, romance writers, films makers make use of.

This paper will show how Mother Goose appears in films, mainly in TV dramas and romance.

Keywords: Mother Goose, mysteries, oral tradition, communication, TV dramas

子どもの文化を大人も共用

日本語文化圏では日本神話に登場する神々や逸話、浦島太郎、桃太郎など、お伽話の中の登場人物とその人達がした事に人々は共通のイメージを持ち、日常会話の中でも、時に引用する。例えば、天竺戸の話では、その場に登場する神々の名前を覚えていなくとも、その場面は思い出す。浦島太郎は、竜宮城という現世とは違う時間が流れる場所に行き、時代に取り残された人物、桃太郎は、元気のよい男の子、孝行息子というイメージがある。

同様に、英語文化圏では、ギリシャ・ローマ神話、聖書、シェークスピアの作品と共にマザーグースも広く知られている。ギリシャ・ローマ神話に登場する神々、その神々の所業、神と人間との関わり、創世記から始まる旧約聖書、イエスの言葉を伝える新約聖書、シェークスピアのそれぞれの作品の中の台詞を、人々は日常会話に利用する。共通の知識であるから、日常のコミュニケーションの中に、利用できるのである。子ども時代に耳にし、口にしたマザーグースの唄やその唄の中に登場する人物をも同様に、大人になっても、日常会話に隠れた意味を伝える為利用する。

本稿では、まず、口承とはどういう姿であったのかを、現代の語り部の言葉に探り、次に、共通の財産とはどういうものであるか、更に、「映画」という身近な現代の語り部が、マザーグースをどのように語っているかを例証する。

口承と語り部の役割

18世紀にニューベリーが、子ども部屋の唄をまとめ、文字にして出版するまで、口承であったマザーグースは、まず、大人から幼児に向けて歌われ、子供も大きくなると自身で歌ったものである。

さて、口伝えについて、イングランドの語り部、ヒュー・ラプトン氏は、2008年2月22日「こだわりライフヨーロッパ：物語で過去と未来をつなぐ」のNHK番組で次のように語っている。

まず、氏は、物語を目で読むことと耳で聞くことの違い、話言葉の音を捉えることの意義を語る。

I think it's a different journey from the eye to the minds as from the ear to the mind. When you hear a story it's only an

edge of music. The cadence, the pitch and the colour of the words affect you in a very different way. And I've always been interested in what language does, what spoken language does: the evocatory, invocatory qualities of language.

次に、語り継ぐとはどういうことなのかを語る。

It's a very much traveler's idea that when you're telling a story, behind you is everyone who's ever told a story, before you the line of people, immediately behind you is a person whom you've heard from, behind him is a person whom he heard from, behind her is a person she heard from. And I always love that idea.

そして、ラプトン氏は、語り部達を育成する場で、人々に記憶していることを絵に描くことで、はっきりとしたイメージを作り上げ、記憶と置かれていた境遇を結びつけるようにと指示する。

I'd like to start off this morning by looking at our own personal relationships with later on history and the way which connects our place. What I'm going to ask you to do is to make a map of your childhood home, if there's a particular place where you grow up or the particular place you have a strong memory of when you were a child.

次に、明確になった記憶を別の人に語り、聞いた人は聞いたばかりの話を自分自身の言葉で次の語り部に語り継ぐようにと、指示する。語り継ぐ事は、単なる郷愁を誘うことではなく、過去と現在とをつなぐ役割を担うものと強調する。

Behind the story tells us a line of voices stretching back. So you know you are telling the things that happened in the past, but at the same time your audience is in front of you here and now. And the story's only worth telling if it actually connects with the people there in front of you. (中略) A tension between ancient things and the moment is on behalf of our story-telling.

共通の知識となるには

ラプトン氏が語り部たちに教示したことから、音声により語り継ぐことが意味するものがわかる。神話や聖書の物語と言葉、それにマザーグースの唄が英語文化圏の人々にとっては共通の知識である。この3つの分野は、いずれも

幼少時から大人が子どもに語り、また長じてからも耳にし、目にするものである。大人たちは、或る時は、子どもをあやす為、また別の時には、子供への道徳的な教えや戯に役立てたことであろう。

おそらくは繰り返し語られたそれらの内容、あるいは言葉は幼児の耳に刻みこまれ、語られた状況と共に心の奥深くに仕舞い込まれる。意識下に潜りこんだ「ことば」を、ある日、彼らが、それらを耳にしたとき、どのように感じるのであろうか。

また、ラプトン氏が語るように、語り部は、自由に自分の言葉や話し方をする。それでは、人々は、共通のイメージをどのようにして持つことができるのであろうか。この解答を次の番組の中に見出した。

2008年9月21日に放映されたNHKの「N響アワー：1時間でわかる！ロメオとジュリエット」プロコフィエフのバレエ組曲「ロメオとジュリエット」の解説で、池辺晋一郎氏が述べた言葉から、人々が共通のイメージを持つ仕組みがわかる。

「台詞のないバレエと言う芸術でどれだけ物語がちゃんと具体的にわかるか。『ロメオとジュリエット』はいろんな形態の音楽にもなっているし、オペラにもなっている。いろんな芸術作品に使われてきている。それは、シェークスピアの偉大さが大本にある。(省略)頑としてシェークスピアはシェークスピア。大本のすごさがある。」

映画に使われたマザーグース

次に、主に、テレビ映画の中でマザーグースの唄が利用された例を紹介する。

利用された唄と映画を次に紹介する。

- 1) Humpty Dumpty
『NCIS ネイビー犯罪捜査班』 1話
『ハウス』 2話
『クールマナー』 2005年 米
- 2) Old King Cole
『NCIS ネイビー犯罪捜査班』 1話
- 3) Where have you been, Billy Boy?
『ミス・マーブル』 「動く指」
- 4) Eena, meena, mina, mo
『CSI 科学捜査班』 1話
『デスパレーション』 2006年 米
- 5) Little Bo-Peep
『ラストキングダム 10 番目の王国』 第3話
- 6) Something Old
『ミス・マーブル』 「シタフォード荘の謎」
- 7) What are little boys made of?
『ハウス』 1話
- 8) This little pig went to market
『ラストキングダム 10 番目の王国』 第3話
『CSI 科学捜査班』 1話
- 9) Baa, Baa black sheep

『ラストキングダム 10 番目の王国』 第3話

次に、テレビ映画、映画に登場した1)から9)の元唄を、それぞれの唄が示す共通のイメージとともに紹介する。

- 1) Humpty Dumpty sat on a wall
Humpty Dumpty had a great fall
All the king's horses and all the king's men
Couldn't Humpty together again.

元は、「卵」をあてる謎々遊び。Humpty が象徴するのは、卵の形から、①丸々と太った人、塀の上に丸いものが座っていることから、②危険な状態にある人、塀から落ちてぐしゃっと割れたしまった卵のイメージから③壊れてしまい復元不可能なものや状態、を表す。

- 2) Old King Cole
Was a merry old soul
And a merry old soul was he;
He called for his pipe,
And he called for his bowl,
And he called for his fiddlers three.

コール王は、唄の内容から宴会好きの陽気な王様の典型である。絵本には、豪華な衣装を身にまとった王として描かれる。

- 3) Where have you been today; Billy, my son?
Where have you been, Billy boy? Billy boy?
Where have you been today, my only man?
I've been a wooing, mother, make my bed soon.
For I'm sick at heart, ad fain would lay down.

スコティッシュバラッド「ロード・ランダル」を短くしたものと考えられている。母と息子の会話である。恋人の元から帰ってきた若い男性が、人魚(別世界から来た)の母に、自分が恋人に毒を盛られ、死ぬことを告げる。

- 4) Eena, meena, mina, mo
Catch a tiger by his toe,
If he hollers, let him go,
Eena, meena, mina, mo

鬼決め唄である。最初の行は、昔の数の数え方である。この唄は、手当たり次第に何かを選び出さなければならない時に、神任せのように口にされる。「イーニ、ミーニ、マイニイ、モウ」と発音される。

- 5) Little Bo-peep has lost her sheep,
And can't tell where to find them;
Leave them alone, and they'll come home,
And bring their tails behind them.

女性の羊飼いの唄である。純真で世間知らずな乙女の象徴として考えられ、容姿は青い色のドレスを着、羊を捕まえる先が曲がった杖を持った姿で描かれることが多い。

- 6) Something old, something new
Something borrowed, something blue
And a penny in her shoe.

結婚する女性が結婚式に身につけると幸せになると迷信で言われている5つの物を表している。

7) What are little boys made of?

Frogs and snails

And puppy-dogs' tails,

That's what little boys are made of.

1820年に、詩人の Robert Southey が書いたもの。12連から成る唄の第一連。男の子は、すべて悪いもので作られ、いたずらで活発な男の子を表している。第二連には、女の子は、すべてよいものでできていると続く。

8) This little pig went to market

This little pig stayed at home,

This little pig had roast beef,

This little pig had none

And this little pig cried, Wee-wee-wee-wee,

I can't find my way home.

指遊びの唄である。大人が子どもの足の指の一本一本にさわりながら歌い、最後に足の裏をくすぐる。

9) Baa,Baa black sheep

Have you any wool?

Yes, sir, yes, sir,

Three bags full;

One for the master,

And one for the dame,

And one for the little boy

Who lives down the lane.

マザーグースの中で羊が登場する3つの唄のうちの一つ。袋は、1275年に課せられた輸出税を表している。

次に、各映画の内容および登場人物を紹介する。年号のあるものは映画、ないものは、テレビシリーズである。

1) 『NCIS ネイビー犯罪捜査班』米

2003年からアメリカCBSで製作されているアメリカ海軍と海兵隊の関する犯罪を調査する捜査班の話。特別捜査官ギブスをリーダーに、元警察官で陽気なイタリア系アのトニー、コンピュータを使った解析・情報収集能力にすぐれた新任捜査官のマクギー、シーズン2の最後に射殺されたケイトに代わり、シーズン3から登場したイスラエル人で語学堪能なダヴィードの3名の捜査官、解剖を担当するスコットランド人医師ダッキーと科学分析担当のアビーがレギュラーとして登場する。

2) 『ハウス』米

医師ハウスは、事故で右脚の筋肉を失い、杖を使って歩行する偏屈な医者である。専門は、Infectious Disease(感染症)とNephrology(腎臓病学)。勤め先は、Princeton Plainsboro Teaching Hospital。部下に、キャメロン医師、フォーマン医師、チェイス医師。同僚には、腫瘍学が専門で、ハウスの唯一の友ウィル、上司のカディ。運びこまれた患者が正直に質問に答えないこともあり、病気の原因を限定するまでに、さまざまな検査、治療を施しながら、病巣を探り、原因を突き止める様子は、ミステリーでの犯人探しに類似している。

3) 『クールマナー』2005年 米

他人を騙すと言うより、その容貌のゆえに他人から自然に信

用され、騙した相手からも憎まれない天性の持主で、世間の切り抜け方も巧みな詐欺師兼ホテル強盗の物語。

4) 『ミス・マーブル』英

アガサ・クリスティが生み出したベルギー人探偵のポアロについて有名な探偵である。年齢は70歳くらい。仮想の村、セント・メアリー・ミードに居住し、事件解明に、鋭い観察力と身近な人達との経験から推理を展開する。時に、友達を訪ねるために、村を離れ様々な場所を訪れる。

5) 『CSI 科学捜査班』米

ラスベガス、ニューヨーク、マイアミを拠点とした、CSIシリーズの原点。グリッソムを長とし、特異な職歴を持つキャサリン、陽気なニック、クレイグ、ウォーリック、サラなど現場を担当する捜査官たちと捜査官が集めた証拠の分析を担当する職員たちの活躍を描いたテレビ映画シリーズ。

6) 『デスパレーション』2006年 米

スティーブン・キング原作の映画。砂漠の中の道路を走行中のポールとマリー夫妻は、保安官に停められ、身に覚えのない麻薬所持を理由に廃鉱の町デスパレーションの留置所に入れられる。そこには、既に、4人が留置されている。昔、その町は、中国人労働者に過酷な労働を強いて、大きな利益を上げていた。鉱山の中で殺された中国人たちの怨恨が、現代に甦り生きている人間に乗り移る。魂は永遠だが、人間の肉体はすぐに腐敗する。そのため、生きた人間を魂は必要とする。留置所に囚われ、妹を保安官に既に殺されていた少年は、その妹の霊に助けられ牢から脱出し、他の人達と力を合わせ、悪霊を退治する。

7) 『ラストキングダム10番目の王国』1999年 米TV映画

1999年にアメリカNBCで放送された全4話からなる、マザーグース、グリム童話、アンデルセン童話が満載の映画である。物語の縦糸は、犬の姿に変えられた第4王国の王子ウェンデルをニューヨークのアパートの管理人トニーの娘ヴァージニアが助ける冒険の旅に、横糸は、ヴァージニアと彼女を取り巻く人々の話となっている。犬の姿のウェンデル王子は魔女の手から逃げるうちに、現代のニューヨーク、セントラル・パークに紛れ込み、そこで、ヴァージニアに保護される。彼女は、等身大の鏡を通り抜け、お伽の世界へ入りこみ、ウェンデル王子を元の姿に戻し、正統な王座につかせる冒険の旅をする。ヴァージニアは、最後に、ウルフ(狼男)と結ばれるので、赤頭巾が彼女のモデルかもしれない。

映画の中のマザーグース

医者が登場すると手術。手術では、人間の体を切り刻むことから、ハンプティ・ダンプティと結びつけやすいようである。テレビ映画でも、次の3話でHumpty Dumptyが口にされた。Humpty Dumptyが象徴するものは、まるまると太った人、危険な状態にあるまたは状態、ばらばらにされて復元不可能のものである。

まず、ばらばらに分解されているものを表す例である。

・『NCIS ネイビー犯罪捜査班』シーズン1-12

ごみ回収人が、ゴミ箱から切断された人間の右足を発見する。手術の痕跡から、海兵隊員のものだと判明し、NCISが出動する。

事件解決後、遺体の残りの部分を捜している捜査官達に、ギブス捜査官は、次のように問いかける。

G: You guys *put Humpty Dumpty back together*?

Kate: Most of them.

次に、偏屈な医者をも主人公にした『ハウス』にも、丸々と太ったイメージと、卵がぐしゃっと壊れた状態を連想させる場面で Humpty Dumpty が登場した。

・『ハウス』 シーズン 3-6 “Que Sera Sera”

体重 600 ポンドを超える美食家の男性が病院に運び込まれる。ハウス達は、病因を体重によると考え、検査をしようとするが、患者は、拒否する。それでも、数々の検査をしたが、何の異常も見つからない。患者は、無理に退院しようとする。キャメロン医師は、薬を用い、患者を病院に留めようとする。以下は、その時の会話。

C は、キャメロン医師、F はフォーマン医師、H はハウス。

C: I don't think he should be discharged. So I gave him phenytoin.

I just don't want him to leave.

F: But you are OK with his crashing into a glass wall.

C: I tried to keep him in the wheelchair. But he stopped to start.

H: I saw honorable people.

F: So what would we do now?

H: He was discharged, the report says, before breakfast, which means *Humpty Dumpty* didn't get to be his size and *all the king's horses* by skipping the most important meal of the day. What causes coma, fever and loss of appetite?

ハウスは、体重に関連する検査をいやがりベッドの上で暴れる患者の膨らんだ指を見て、様々な症状を引き起こした原因をつきとめる。この患者は、肺がんを患っていた。

・『ハウス』 シリーズ 3-13 “Needle in a Haystack”

16 歳のロマ族の少年が呼吸器不全と内出血を起こし、病院に運び込まれたが、原因が特定できない。腸に腫瘍があると信じたハウスは、開腹手術中の少年の腹の中に手をいれ、腸を触診する。手術を担当していた医師が、何も悪い箇所が無いことを確認し、触診しているハウスに向かって次のように言う。

D: Come on. Can't keep *Humpty Dumpty* like this forever.

・『NCIS ネイビー犯罪捜査班』 シーズン 3-12

「絶体絶命」 (BOXED IN)

捜査官トニーとダヴィードの二人が武器密輸の疑いのある港に荷揚げされたコンテナを捜査している最中に襲撃され、扉が開いていたコンテナに身を隠すと、閉じ込められてしまう。コンテナの積荷は、DVD のみ。しかし、トニーは、コンテナの外寸に比べ内部が狭いことに気づき、内寸を足で測り、秘密の隠し場所を発見する。中には、木箱。木箱にはアラビア語で「危険」と書かれていた。しかし、実際の中身は、大量の偽 100 ドル札。その枚数を数えているトニーにダヴィードが次のように声をかける。T はトニー、D はダヴィードである。

T: One million eight hundred twenty million

D: Counting Rich *Old King Cole*?

T: Midas. *King Cole was a merry old soul.* One hundred twenty

million... Thanks! You made me lose count again.

D: Good!

ダヴィードは、中東出身の捜査官。彼女は、語学が堪能であるが、時々英語の表現を間違え、トニーらに訂正される。上記の会話からは、彼女は、*Old King Cole* と「6 ペンスの唄」に登場する King とを混同していることがわかる。トニーは、訂正すると同時にギリシア神話に登場する手に触れるものは何でも金に変わるようにしてほしいと神に願ったミダス王に言及する。

二人を閉じ込めたコンテナは、その後、トラックに載せられ、移動する。次の会話には、ヘンゼルとグレーテルが登場する。トニーが、幼児期に種々の子供の文化に親しんだことが偲ばれる会話である。

T: OK. I have a plan. We build a time machine.

D: We could leave a trail.

T: Sorry, *Gretel*. I left *bread crumbs* back in the office.

D: Good thing is I count on it.

この会話のあと、二人は、コンテナのわずかに空いた穴から、偽 100 ドル札をばら撒く。仲間の捜査官達は、偽札の跡を追ひ二人の居場所を突き止め、犯人を捉える。

トニーが言及した、ギリシア神話に登場するミダス王は、Ovid の *Metamorphoses* 第 11 巻にも描かれている。フィリジアの伝説的王の彼は、触るもの全てが金に変わるようにという望みをディオニウスに叶えてもらう。おかげで、愛する娘も金に変わり、食べ物も全て金に変わってしまうので、食べることもできず、せつかくの願いを取り消してもらう。しかし、後世には、何もかも金に変えてしまう人物として伝わった。また、彼は、無謀にも、太陽神アポロンに牧神の笛の方がアポロンの堅琴よりも勝っていると言ったため、耳をロバに変えられてしまった「王様の耳はロバの耳」の王でもある。映画『クールマナー』にも次の場面に登場する。

・映画『クールマナー』 2005 米

主人公ボビー・コンフォートは、ニューヨークのロチェスター刑務所から脱獄。その後すぐに逮捕されるが、持ち前の頭脳と話術で、脱獄については無罪を獲得し、逆に、州を訴える。従兄弟のフィル・パリスは警察官。その彼の世話で、ボビーは、デンタープラント社に職を見つける。しかし、彼の才能を見込んだサム・ナロという人物がホテル荒らしに誘う。ホテルの貸し金庫を狙った仕事は面白いほどうまくいき、大金を手に入れる。次は、ボビーが家族に会いに行った時の一人ごとである。

Remember that guy, *Midas*? One wish he chose against good advice is to have everything he touched turned gold. His wonder no food. He is afraid to touch his wife. But there must've been a moment right in the beginning. He felt the greatest happiness in his life.

ミダス王の栄枯盛衰の姿は、Humpty Dumpty が塀の上、すなわち、高みにあがった絶頂期の姿とその後の転落の姿と共通する。この映画には、話題の展開の各章に表題がついている。その最

終章につけられた表題が、Humpty Dumpty の最後の行の *All the King's men*.

サム・ナロは、ギャングの親分ジョニー・アイリッシュに追われる身で、最後には、警察に捉えられる。Humpty Dumpty の終焉と同じように身を滅ぼすのである。

映画の最後に、次の言葉が流れた。

Bob Comfort and Sam Nalo were arrested for the Pierre Hotel robbery, and convicted on circumstantial evidence. Nalo died in prison. Comfort successfully appealed his own case and was released.

The money was never found.

The money は、最後のホテル荒らしで手に入れた大金である。

映画に登場するマザーグース中の人物は、Humpty Dumpty の以外にも、Little Bo-peep、Old King Cole などがいる。マザーグース以外のお伽話からは、白雪姫、シンデレラ、それに彼女たちを取り巻く、魔女、小人達、オオカミ、猟師も映画に登場する。彼らは、『ラストキングダム 10 番目の王国』の第3話と第4話に登場する。

まず、第3話では、大木に閉じ込められたヴァージニアの髪はラプンツェルのように長くなる。その長い髪を伝ってウルフがよじ登り、彼女を救出する。鏡を追いかけてトニー、ヴァージニア、ウルフと犬は、Little Lamb Village に到着。そこでは、the Annual Little Lamb Village Competition が開催されていた。大会の種目の一つが Beautiful sheep and Shepherdess competition で、賞品は探し求めていた等身大の鏡。ところが、村は Peep 一族に支配されていた。彼らは、「魔法の井戸 (Magic Wish Well)」の水脈を自分達の納屋に引き込み、自分達だけの望みが叶うようにしてしまっていたのである。おかげで、村の中にあった「魔法の井戸」は干上がってしまっていた。

競技には、ヴァージニアを含め、Mary Lamley, Sally Peep の三人が参加。ヴァージニアは、青色のドレス、Mary は村娘の衣装、Sally は、黄色の衣装を身につけて登場する。色合いからも、Little Bo-peep にもっとも近い装いは、ヴァージニアである。Peep 一族 Sally の羊は、「魔法の井戸」の力で、ピンク色に染まっていた。競技は、羊の美しさと、競技者が羊の歌を歌うことで競われる。まず、Mary が歌うのが、*Baa-baa Black Sheep*、次に、Sally が歌うのは、*Little-Bo-Peep*。ヴァージニアは、羊が登場する唄を他には思いつかなかった。そこで、父親に What sheep song do you know? と尋ねると、返事は *Baa, baa, black sheep*。途方にくれるヴァージニアに、Pick up any song と父親。彼女は Brian May の *We will, we will rock you* に「メリーさんの羊」を連想させる言葉を次のように入れて歌う。

Buddy you're a lamb make a big noise
Playin' in the fleece goona be a big lamb some day
Put on your face
Big disgrace
Kickin' your fleece all over the place.
Singing!
We will, we will shear you.

すぐに、「メリーさんの羊」の唄を思いつかなかったことは、ヴァージニアの母親が7歳の時に家を出たことと関係があるのかもしれない。子ども時代における母親の存在の欠如である。

ヴァージニアは、首尾よくこのコンテストに優勝。鏡を手に入れることができた直後に、Sally Peep の惨殺死体が見つかる。祭の前に、家畜が狼に殺されていたことや、彼女が「ウルフ!」と聞こえる言葉を叫んでいるのを聞いた村人達は、ウルフが犯人だと信じ込む。しかし、Sally は殺される前に、Peep 一族が大事にしていた「魔法の井戸」を腹立ちまぎれに壊し、そのことに怒った Peep 家の長老ウルフィーが彼女を殺したのである。

無事に、ウルフの無罪を勝ち取り、納屋に隠していた鏡を取りに戻ると、鏡がなくなっていた。そこにいた婦人に尋ねると、My son went to market. (豚を売りに出かけたのである。)

市場で、ついに、鏡を見つけるが、とても払うことができない値段で競売にかけられていた。トニーが、鏡を盗み出すが、屋根から落としてしまい粉々に壊してしまう。物語は、第4話へと続く。

いよいよ、戴冠式。二人は壊れた鏡の代わりをみつけ、現実の世界に戻れる道を見つける。しかし、ウェンデル王子は、犬の姿のまま。彼女は、王子が元の姿に戻り、無事に戴冠式を終えるのを見届ける為に異界に残る。その戴冠式には、各国の王族が集まる。一つの馬車に、豪華な衣装をまとった人物を見た、トロールの一人が *Old King Cole* だと叫ぶ。ところが、実際の戴冠式場に現れた *Old King Cole* は、衣服をまとっていない。Here's the *Old King Cole*. I must introduce you to my tailor. という囁き声が聞こえる。アンデルセンの「裸の王様」との混同であろう。式場に登場する一人一人を紹介する声がある。200 歳になったシンデレラの紹介には、May I present you a vision of loveliness? The dancing queen, the slipper's queen. It's queen Cinderella! とシンデレラの特徴が述べられる。

映画の最後で、邪悪な「魔女」は、ヴァージニアが7歳の時に家を出て行った実母だとわかる。そして、彼女は、白雪姫(ウェンデル王子の祖母)の助けを借り、白雪姫殺害の道具の一つだった毒櫛で実母をあやめる。娘と母親の決別の瞬間である。そして、彼女は、ウルフと共に現実の世界へと戻る。

お伽噺に含まれる親子関係、異人種との関係、危険に対する心構えなど、教訓的な要素が盛り込まれた映画でもある。

『ラストキングダム 10 番目の王国』の中に、豚を市場に連れて行ったという「5 匹の子豚」を示唆する表現がある。『CSI 科学捜査班』のシーズン7-22『侵略者レプティリアン』にも、引用された。捜査官ニックが、失踪者 (China という名前の婦人) の捜索の為ある農家に出向く。その農場にある豚の囲いの中から、人間の骨が発見される。彼は、*This little piggy went to market, This little piggy stayed at home, This little piggy had China* と豚が失踪者を食べてしまったと、口に出す。

・『ハウス』 シーズン2-12 “Distraction”には、「男の子は何でできているの?」が利用されている。

ファッションモデルとして活躍する15歳の少女アレックスは、ある日、舞台を歩いている最中に倒れ、ハウスのいる病院

に運び込まれる。脱力感、攻撃性、気絶、痙攣、記憶障害などの症状が現れ、レントゲン、血液検査の結果、ハウスは、意外な事を発見する。Aは、アレックス、H はハウスである。

H: We've found a tumor.

父: She's a cancer?

H: Technically, no.

父: So, she's not a cancer.

H: Of course a cancer. But 'he' has a cancer. On his left testicle.

A: I don't have testicles.

父: She's not a guy.

H: DNA says you're wrong. *Frog, snails, and puppy dogs' tails.* You've got a male pseudo hermaphroditism. We all started as girls and differentiate based on genes. The ovals are developed to testicles and drop. But one in one hundred fifty thousand pregnancies fetus with XY Chrome develops something else, like you.

・『ミス・マーブル』 「動く指」

戦争から戻った軍人のジェリーは、酒と女におぼれる無力な日々をケリをつけようと、バイク事故を起こす。一命を取り留めた彼は、医師から田舎での静養を勧められ、妹ジョアナとともにリムストックという村にやってくる。そこでは匿名で村人を中傷する手紙が出回っており、受取人の一人であるアップルトン大佐が拳銃自殺を遂げたばかりだった。ジェリーとジョアナが招かれたシミントン夫妻のディナーには、ジェリーの主治医と妹、独身貴族のオルガン奏者、そして大佐の葬儀に来ていたミス・マーブルが集まっていた。ミス・マーブルは、中傷の手紙を受け取ったシミントン夫人が、青酸カリで死んだ真相を暴く。犯人は、夫のシミントン氏だった。

*Where have you been, Billy boy?*は、夫人が亡くなった後に夫が開いた茶会で、シミントン家の息子達が歌った。信じていた恋人に殺される唄は、犯人が誰であるのかを示唆しているようである。

・『ミス・マーブル』 「シタフォード荘のなぞ」

アフリカで財産を成したトレヴェリアン大佐がシタフォード荘で殺害される。顔には笑みを浮かべていた。シタフォード荘に滞在していたミス・マーブルが事件解決に乗り出す。大佐は、若い頃、親友の妹を愛していたが、結婚することができなかった。何年もの時が経ち、ある日、昔愛した女性ヴァイオレットと同じ名前の娘と出会い、密かに結婚する。彼は、その結婚の日に、殺害されたのである。雪に閉ざされたシタフォード荘に犯人と閉じ込められた状態は、『オリエント急行殺人事件』を彷彿させる。密かに執り行われた結婚式にのぞむヴァイオレットが口にするのが、*something old, something blue* である。

・『CSI 科学捜査班』シリーズ 7-16 「予告された殺人模型」
殺人現場を精確に模した模型が、現場に残される事件が5件続いた。犯人は、ある福祉施設に預けられていた13人の子供の一人だとわかる。しかし、特定はできない。グリッソムは、*Eena, mena, mina, mo, Catch a monster by the toe* とつぶやく。

・『デスパレーション』

留置所に入れられている5人。体の腐敗が始まった保安官に巣くう悪霊は、次にどの肉体に移り移ろうかと、鉄格子の前で、*Eena, mena, mina, mo* とつぶやく。5人は、生贄に選ばれ、死刑の宣告を待つような不安な気持ちになったことであろう。

ロマンスにも登場するマザーグース

前項では、映画の中でミステリーばかりでなく、ロマンスにもマザーグースが利用される例を紹介した。子ども向けの唄が、大人の世界にも立派に通用するのである。また、ヴァン・ダイン、クリスティ、クイーン、キング等はそのミステリー小説の中に、S. ブラウン、L. ハワードら現代のミステリーロマンス作家の作品にも、マザーグースからの引用が見られる。口承によりイメージが定着しているものを文字の世界にも活用しているのである。M. ディーンの『ワシントンの愛と欲望』の中では、母親が5歳の娘に「ちいさなくもさん」を歌う。S. ブラウンの『いたずらが死を招く』では、新興宗教教祖が乳児室の壁にマザーグースの絵を描き、スピーカーから「彼がマザーグースを読んだり子守唄を口ずさんだりしているテープ」を流す。それは「どの赤ん坊にも、育つ過程で、潜在意識の重要な部分に彼の声を植えたかったのだ。」

最後に

マザーグースや、神話に登場する人物は、彼らの逸話と共に人々の心の中に深く浸透し、同じ文化の中で生きる人々には、共有の知識となっている。そして、日常のコミュニケーションを円滑にするためにも、引用される。本稿では、その例を主に映像の中の口頭によるもの、また、文字でも使われる例を紹介した。

冒頭に引用したラプトン氏の語りから、口承による語り継ぎの手法がわかる。また、同じ物語でも、語り手の思い入れや言葉によって変化することもわかる。しかし、岩槻アナウンサーが「ロメオとジュリエット」の音楽（音）を耳にした時、「本当にそれぞれの情景と場面が目浮かぶような美しい音楽でした」と述べたように、演奏をする側と聞く側が確固としたイメージを共有している故に、伝達の方法や言葉が違っていても、伝わる真髄（元の意味）は変わらないことがわかる。

最後に、ハンプティが実際の生活で使われた例を紹介する。建物の引越し業者が工場をまず解体し別の場所に移動させる時、*Can this Humpty be put back together again?*とナレーター。

参考文献

- 1) Iona and Peter Opie: *The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes*, Oxford University Press, 1951
- 2) William S. Baring-Gould and Cecil Baring-Gould: *The Annotated Mother Goose*, Clarkson Potter Inc, 1962
- 3) 中村 明: 「センスある日本語表現のために 語感とは何か」、中公新書、1994
- 4) Lucy Rollin: "Humpty Dumpty and the Anxieties of the Vulnerable Child," *Psychoanalytic Responses to Children's Literature*, McFarland & Co., Inc., 1999

(2008年10月10日 受理)